ZM-M215Wの取扱書

はじめに

このたびはZALMANの「2D/3D兼用のLCDモニターZM-M215W」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本書は、「ZM-M215W」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。
ご使用にあたり、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
本2D/3D兼用LCDモニターの機能を十分にご活用くださいますようお願いします。
また、本書は必要に応じてお使いいただけるように、取り出しやすい場所に大切に保管してください。

• 目次

はじめに

安全上のご注意

使用上のお願い

1. コンポーネント

2. ケーブルの接続方法

3. 機能キー

4. ディスプレイの仕様

5. モニターの仕様

6. トラブルシューティング

(2Dおよび3Dモードの時)

安全上の注意

- モニターの通風孔またはA/V(オーディオ・ビデオ)端子に異物を挿入すると、火災または感電の恐れがありますので、ご注意ください。
- 火災、感電、故障、ケガの恐れがありますので、製造元の同意なしに製品の分解、修理、または改造を行わないでください。
- ケーブルを引っ張って電源コードを抜いたり、ぬれた手で電源コードに触れたりしないでください。

使用上のお願い

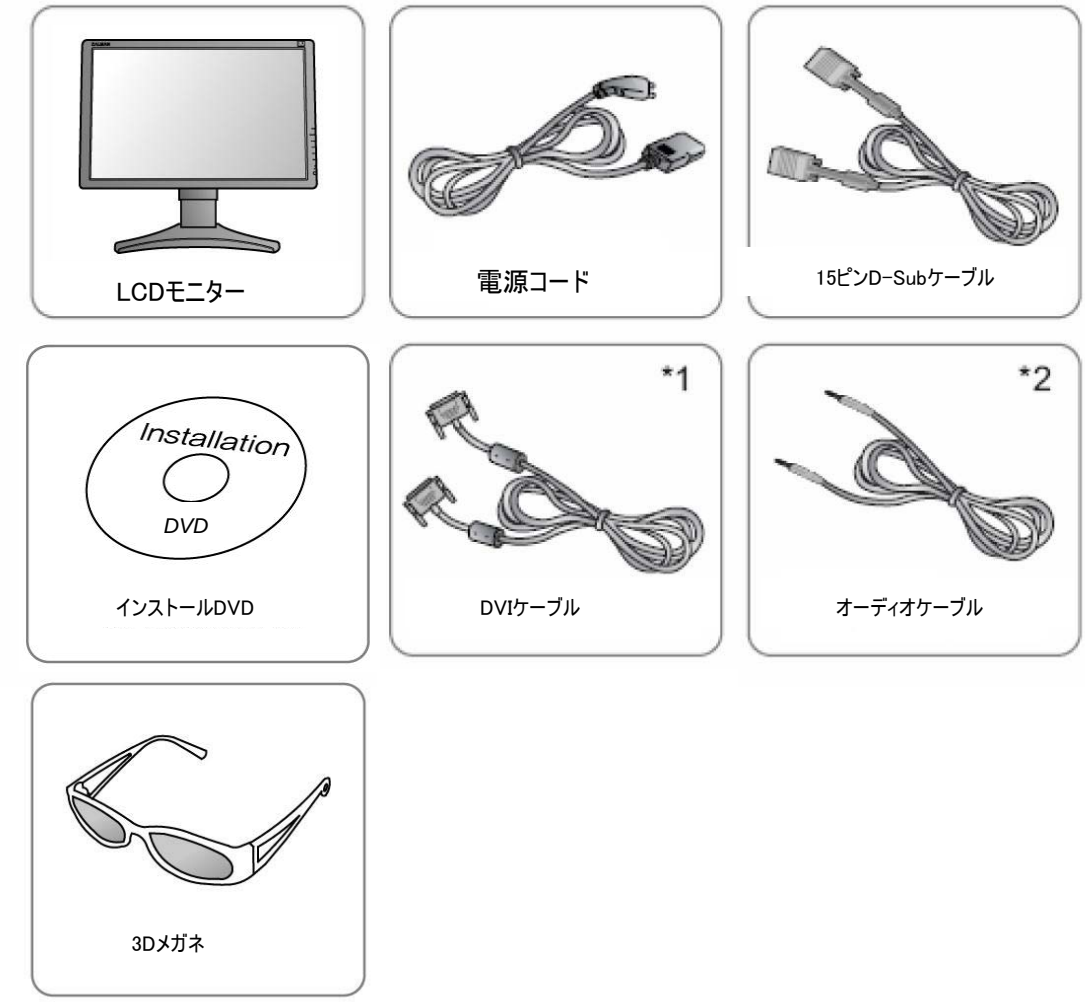
- 付属の電源コードのみ、使用してください。
- アースされたコンセントには電源プラグのみ、接続してください。
- 電源プラグが抜けないように、コンセントの奥までまでしっかりと差し込んでください。
- 本モニターは、壁から一定の距離を置いて、十分な換気が得られるところで使用してください。
- 水や油がかかったり、湿気の高いところには、置かないでください。
- モニターは平らで安定したところでご使用ください。
- 直射日光が当たる場所、暖房機器の近くなど、温度の高くなるところに置かないでください。
- 引火性のスプレーや可燃性物質をモニターのそばで使用したり、保管しないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、重い物を乗せないでください。
- 通風孔が布やカーテンなどで塞がれていないか、確認してください。
- 乾燥剤やビニール袋などは、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 画面を下にして置いたり、無理に押さないでください。LCDパネルが損傷し、ケガする恐れがあります。
- モニターを長期間使用しない場合、電源プラグを抜いてください。
- モニターを洗浄するときは電源コードを取り外してください。 モニターの洗浄には、柔らかい乾いた布を使ってください。 製品の表面を湿った布や工業用漂白剤、ワックス、ベンゼン、アルコール、溶剤、防虫剤、芳香剤、潤滑油、リンス液などの化学薬品で洗浄しないでください。
- モニターから煙が出たり異臭がしたら、電源プラグを抜きA/Sセンターに連絡してください。
- 3Dモードで1時間以上モニターを使用(ゲームのプレー、ビデオの視聴など)すると、めまいの原因となります。 3Dでモニターを1時間使用したら、短い休憩を取ってください(めまいの続く時間は個人によって異なります)。

「免責事項について」

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切責任を負いません。

- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

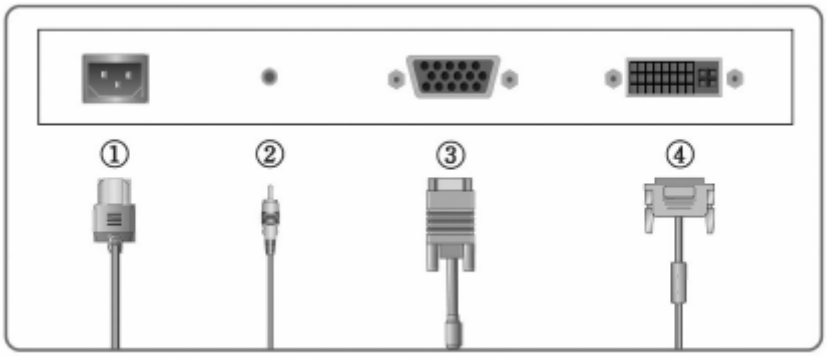
1. コンポーネント



*1 ： DVIモデル専用　　*2 ： オーディオモデル専用

ご確認	モニターに次の付属品が揃っているか、確認してください。 付属品が足りないときは、販売店に連絡ください。 付属のケーブルを使用してください。 Zalmanは、他のケーブルの使用に起因する問題に責任を負いません。

2. ケーブルの接続方法



番号	入出力	ケーブルのタイプ
1	電源	電源コード
2	オーディオイン	オーディオケーブル　*2
3	RGBイン	15ピンD-Sub信号ケーブル
4	DVI	DVI-Dケーブル　*1(オプション)

***1** ： DVIモデル専用　　***2** ： オーディオモデル専用

プラグアンドプレイ(Plug & Play)

新しいVESAプラグアンドプレイソリューションの採用により、複雑で時間のかかるセットアップをしなくても済むようになりました。 それだけでなく、いらいらしたり、まごついたりすることなく、プラグアンドプレイ互換システムにモニターを取り付けることもできるようになりました。 PCシステムは、お使いのディスプレイで使用できるように自動的に認識され設定できます。 本モニターは、DDC(ディスプレイデータチャンネル)プロトコルを使ってPCシステムにそのEDID(拡張ディスプレイ識別情報)を伝えるため、PCシステムは自動的に独自の設定を行ってフラットパネルディスプレイを使用することができます。

ウォームアップ時間

どんなLCDモニターも、2時間ほどモニターの電源をオフにした後でオンにして、安定するまである程度時間がかかります。 従って、パラメータを正確に調整するには、LCDモニターを30分ほどウォームアップしてから画面の調整を行ってください。

!! 画面の状態がとても満足できない場合、「AUTO(自動)」ボタンを押してください。
（この機能を使うと、VGAカードによって、画面ノイズが発生することもあります)。

3. 機能キー

機能キーの使用法

ボタン	機能	ホットキー
自動	ピクチャの自動調整	
メニュー	メインメニューの入力、入力	
▲	上、右	音量アップ
▼	下、左	音量ダウン
電源	オンまたはオフ	

OSDメニューの使用法

[Menu(メニュー)]ボタンを押すと、メインOSDメニューが画面に表示されます。

[▲/▼]ボタンを押して上または下に移動し、メニューボタンを押して選択します。

戻る場合は、[AUTO(自動)]ボタンを押します。

4. ディスプレイの仕様

4-1 ディスプレイモードと周波数

解像度	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
1920 x 1080	67.5	60
1680 x 1050	65.3	60
1280 x 1024	64	60
1024 x 768	48.4	60
	56.5	70
	60	75
800 x 600	37.9	60
	48.1	72
	46.9	75
640 x 480	31.5	60
	37.9	72
	37.4	75
720 x 400	31.5	70

5. モニターの仕様

モデル名		ZM-M215W
ディスプレイ	サイズ	55cm (21.5インチ)
	画面比	16:9ワイド
	最大	1920 x 1080
	応答時間	5ms
周波数&コネクタ	水平	30~83KHz (デジタル)
	垂直	56~75Hz (デジタル)
	ビデオ信号	アナログRGB、DVI
	入力	15ピンD-SUB、DVI、オーディオイン
電源	消費電力	≤40ワット
	スタンバイモード	≤1ワット
	入力	100~240V自由電圧
	プラグアンドプレイ	DDC 1/2B
	電源	内蔵
寸法	製品(スタンド付き)	531 x 382 x 200mm(幅x高さx奥行き)
	カラーボックス	575 x 420 x 125mm(幅x高さx奥行き)
重量	製品重量	4kg

6. トラブルシューティング

<ご注意>

製品を任意に分解すると感電や、ケガなどの恐れがあります。また、製品の故障や損傷の原因となります。不適切なご使用、 改造、修理または電力に関する問題、自然災害などの外的要因による製品故障の修理は、有償となります。

<問題が起きた場合、取るべき対策>

製品に問題が起きた場合、次のことについてチェックしてください。 以下の対策にも問題が解決しない場合、指定のA/Sセンターにご連絡ください。

6-1. 2Dモードの場合

1. 画面が表示されず、電源表示ランプが点灯しない場合
   - モニターが省エネモードで作動していないかチェックしてください。
   - モニターの電源がオンになってるか、また電源コードが確実に接続されているかチェックして下さい。
2. 画面が鮮明でない場合(ちらつき、ノイズなどがある場合)
   - VGAケーブルの接続状態をチェックしてください。
   - 画面のリフレッシュレートが75Hz以上に設定されているか、チェックしてください。 画面のリフレッシュレートを60Hzに設定すると、最適の画面状態になります(クロックと位相を調整)。
3. 画面がぼやけて見える場合
   - 画面の位相を調整してください。
   - 画面のリフレッシュレートを60Hzに設定してください。
   - 外部ビデオ信号を除去してください。
4. 画面が暗すぎたり、明るすぎたり、またはぼやけている場合
   - 輝度またはコントラストを調整してください。

6-2. 3Dモードの場合

1. 画面がオフになってもぼんやりと見える
   - この現象は、LCDパネルと3Dフィルターの間の空気層で外側の光による現象です。この現象は、LCD画面がオンになるとほとんど目立たなくなるため、モニターの使用に支障はありません。
2. 画像が3Dではなく、2Dに見える。
   1) 付属の偏光メガネを着けていない場合
      - 3D立体効果を得るには、必ず付属の偏光メガネをかけてみて下さい。

      ［注］ 付属のメガネは、モニターの3Dフィルターと互換性できる円偏光メガネです。
      他社製の偏光メガネを使うと、光学特性の違いため、本モニターで3D画像表示ができないか、鮮明な画像を見ることはできません。

2) モニターが表示角度から外れて見える場合

- 鮮明な3D立体画像を得るには、目の高さをLCD画面の下部から4の3ほどのところに置き、モニターを30～60cmほど離れた位置で見てください。
- 3D立体効果はモニターの水平角が90度、垂直角が12度以内で、もっとも鮮明に見えます。

3) 解像度調整を行っていない場合

- モニターの解像度をその最大解像度に設定します。

4) 左右の画像が逆になっている場合

- 3D動画の場合、プレーヤーの「右目画像」をディスプレイの奇数の水平線に設定します。。
- 3D写真の場合、ビューアの「右目画像」をディスプレイの奇数の水平線に設定します。
- グラフィックス信号は正確であるが画像が1ライン上または下にずれている場合、[Menu-Picture(メニュー-ピクチャ)]設定の下でモニターの垂直位置を調整します。

3. 画像が3Dではなく2Dに見える場合

- 本製品は2D/3D兼用モニターです。 2Dで制作されたメディアは2Dのみ表示され、3Dで作成されたメディアのみが3Dで表示されます。

4. 反射光が画面に映る

- 本モニターのLCD前面にはガラス製3Dフィルターが取り付けられています。表面の反射光を取り除くことはできません。 従って、見る人の背後に光源を置かないようにしてください。
  やむを得ず、背後に光源を置く場合、光源の反射光がディスプレイに映らないようにモニターの角度を調整してください。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ＶＣＣＩ－Ｂ